

- 問1 明治時代初期の政治的なできごとについて、1889年の大日本帝国憲法発布に至るまでの経緯を古い順に並べたものとして、適切なものはどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 岩倉具視らの使節団派遣 → 板垣退助による自由党の結成 → 征韓論による西郷隆盛の下野 | 2. 岩倉具視らの使節団派遣 → 征韓論による西郷隆盛の下野 → 板垣退助による自由党の結成 | 3. 板垣退助による自由党の結成 → 征韓論による西郷隆盛の下野 → 岩倉具視らの使節団派遣 | 4. 征韓論による西郷隆盛の下野 → 岩倉具視らの使節団派遣 → 板垣退助による自由党の結成 |
|--|--|--|--|
-
- 問2 1911年に勃発した辛亥革命によって清が倒された後、1912年に孫文を臨時大総統として建国された、アジアで最初の共和国の名称を答えなさい。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|--------|---------|
| 1. 中華民国 | 2. 中華人民共和国 | 3. 満州国 | 4. 大韓民国 |
|---------|------------|--------|---------|
-
- 問3 日本の外交史において、1911年に日露戦争後の国際的地位の向上を背景として達成され、これによって幕末以来の不平等条約が完全に解消された出来事はどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|--------------------|--------------------------|-----------------------|
| 1. 井上馨による鹿鳴館の建設と欧化政策の実施 | 2. 陸奥宗光による領事裁判権の撤廃 | 3. 岩倉具視による米欧派遣と条約改正交渉の開始 | 4. 小村寿太郎による関税自主権の完全回復 |
|-------------------------|--------------------|--------------------------|-----------------------|
-
- 問4 明治時代の産業発展において、生糸は外貨を獲得するための極めて重要な輸出品でした。この生糸の貿易に関する当時の状況について、産地と輸出拠点の関わりを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 北海道の開拓使による産業振興により、函館がロシア向けの生糸輸出の中心的役割を担うようになった。 | 2. 政府は長崎を唯一の生糸輸出港に指定し、清やオランダとの間で独占的な貿易を継続させた。 | 3. 大阪を中心とする綿織物工業の発展に伴い、神戸が原材料である生糸の最大の輸入拠点となった。 | 4. 群馬県などの産地で作られた生糸は、陸路で横浜へと運ばれ、そこから欧米諸国へと大量に輸出された。 |
|--|---|---|--|
-
- 問5 明治政府の初期において、倒幕の中心となった薩摩（鹿児島県）・長州（山口県）・土佐（高知県）・肥前（佐賀県）といった、一部の藩の出身者が政府の主要な役職を独占していた政治体制を何といいますか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 政党内閣 | 2. 挙国一致内閣 | 3. 藩閥政府 | 4. 公議政体 |
|---------|-----------|---------|---------|
-
- 問6 1905年にアメリカの仲介で結ばれたポーツマス条約の内容と、その結果として当時の日本国内で起こった出来事の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 台湾や澎湖諸島の領有権に加え、多額の賠償金を得たことで、国内では八幡製鉄所が建設されるなど工業化が進んだ。 | 2. 日本の独立は認められたものの、ソ連などの共産主義諸国が調印を拒否したため、国内では激しい反対デモが発生した。 | 3. 樺太の南半分や遼東半島の租借権を獲得したが、賠償金は得られなかったため、国民による日比谷焼打ち事件などの暴動が起きた。 | 4. 朝鮮に対する清の宗主権を否定させたが、領土は一切獲得できなかったため、自由民権運動が再び活発化した。 |
|--|---|--|---|
-
- 問7 ペリー来航から昭和初期にかけての日本の歩みを記した略年表において、岩倉使節団の派遣と同じ1872年に位置づけられる出来事として、明治政府による日本初の近代的な学校教育制度の公布があります。この制度の公布と同じ年に、『天は人の上に人を造らず』という一節で知られる著書を刊行し、個人の独立と実学の重要性を説いた人物は誰ですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|----------|---------|
| 1. 津田梅子 | 2. 森有礼 | 3. 新渡戸稲造 | 4. 福沢諭吉 |
|---------|--------|----------|---------|
-
- 問8 日露戦争の講和において、新聞社説などが賠償金の獲得を強く主張し世論をあおる中で、実際に結ばれたポーツマス条約では「賠償金なし」という結果に終わりました。これに対し、増税や戦死者に苦しんできた国民が不満を爆発させて東京で起こした騒乱事件を何といいますか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|--------|-----------|
| 1. 足尾銅山鉍毒事件 | 2. 日比谷焼打事件 | 3. 米騒動 | 4. 二・二六事件 |
|-------------|------------|--------|-----------|
-
- 問9 20世紀初頭のヨーロッパにおいて、急速に軍備を増強し世界政策を展開するドイツを警戒し、イギリス、フランス、ロシアの3カ国の間で成立した協力関係を何といいますか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国際連盟 | 2. 三国同盟 | 3. 国際連合 | 4. 三国協商 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問10 日本の紙幣（日本銀行券）の肖像には、歴史上の偉大な人物が選ばれています。現在の五千円札の肖像に選ばれており、明治時代の文学界において『たけくらべ』などの代表作を残した女性に関連する記述として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---|--|
| 1. 津田塾大学の前身となる女子英学塾を創立し、女子教育の普及に貢献した。 | 2. 「原始、女性は太陽であった」という言葉を掲げ、青鞥社を結成した。 | 3. 日露戦争の際に「君死にたまふことなかれ」という詩を発表し、反戦を訴えた。 | 4. 自らの苦しい生活体験を背景に、女性の立場から鋭い感性で小説を執筆した。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---|--|
-
- 問11 明治時代の政治と外交の関連について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大日本帝国憲法が発布された直後、ロシアとの戦争に勝利した日本は、下関条約によって多額の賠償金を得た。 | 2. 日露戦争の講和条約である下関条約を締結したことで、日本は国際的な地位を高め、その直後に大日本帝国憲法が制定された。 | 3. 立憲改進黨はポーツマス条約の締結に反対するために結成された政党であり、これが大日本帝国憲法の条文中に影響を与えた。 | 4. 自由民権運動が高まるなかで立憲改進黨などの政党が結成され、その後近代国家の枠組みとなる大日本帝国憲法が発布された。 |
|---|--|--|--|
-
- 問12 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容と、その結果に関する説明として、歴史的背景を踏まえた正しいものを選択してください。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アメリカの仲介によってロシアから遼東半島の租借権を返還してもらった代わりに、日本は韓国への干渉を一切放棄することを認めた。 | 2. ロシアから多額の賠償金を得ることに成功したため、戦時中の重税に苦しんでいた国民は政府を高く評価した。 | 3. 樺太の全土を日本領とすることが認められたため、資源確保の観点から日本の経済界はこの条約を歓迎した。 | 4. ロシアは韓国（大韓帝国）に対する日本の指導権を認めたが、日本は賠償金を得られなかったため、国内で不満を抱いた民衆による暴動が起きた。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 岩倉具視らの使節団派遣 → 征韓論による西郷隆盛の下野 → 板垣退助による自由党の結成	明治初期の政治の流れを整理すると、まず1871年から岩倉具視や大久保利通らが不平等条約の改正交渉のために欧米へ派遣されました。彼らが不在の間に留守政府で征韓論が盛り上がりましたが、1873年に帰国した岩倉らがこれに反対し、敗れた西郷隆盛や板垣退助が政府を去りました。その後、板垣退助は言論による運動を展開し、1881年の「国会開設の詔」が出された直後に自由党を結成しました。これらの動きを経て、1889年の憲法発布、1890年の第1回衆議院議員総選挙へとつながっていきます。
問2	答え 1 中華民国	1911年の辛亥革命により、長年続いた清の専制政治が終わりを告げました。翌1912年、南京を首都として成立したのが中華民国です。これは皇帝が支配する体制から、国民が主権を持つ共和制へと移行したアジア初の事例であり、三民主義を掲げた孫文がその中心人物となりました。
問3	答え 4 小村寿太郎による関税自主権の完全回復	1911年、日露戦争での勝利を経て日本の国際的地位が高まった時期に、外務大臣の小村寿太郎がアメリカなどの諸国と交渉し、関税自主権の完全回復を実現しました。これにより、1858年の安政の五カ国条約以来続いていた不平等な条約関係がすべて解消されました。1894年の陸奥宗光による領事裁判権撤廃と、1911年の小村寿太郎による関税自主権回復の順序と内容を正確に把握しておくことが重要です。
問4	答え 4 群馬県などの産地でつくられた生糸は、陸路で横浜へと運ばれ、そこから欧米諸国へと大量に輸出された。	明治政府の富国強兵・殖産興業政策において、生糸は重要な輸出資源でした。富岡製糸場（群馬県）などに代表される近代的な製糸工場で生産された生糸は、横浜に集められて輸出されました。この地理的なつながりにより、横浜は日本最大の貿易港としての地位を確立しました。
問5	答え 3 藩閥政府	明治新政府は中央集権的な国家体制を目指しましたが、実際には倒幕に大きな功績のあった有力な藩の出身者が実権を握り続けました。このような体制は、のちに板垣退助らによって「有司専制（官僚による独裁）」として厳しく批判され、自由民権運動が起こる要因となりました。
問6	答え 3 樺太の南半分や遼東半島の租借権を獲得したが、賠償金は得られなかったため、国民による日比谷焼打ち事件などの暴動が起きた。	ポーツマス条約において、日本は韓国（大韓帝国）に対する指導権、樺太の南半分、遼東半島の租借権、南満洲鉄道の利権などを獲得しました。しかし、ロシアから賠償金を得ることはできませんでした。重税に耐えて戦争を支持していた国民は、賠償金がないという結果に不満を爆発させ、東京の日比谷公園での集会から暴動（日比谷焼打ち事件）へと発展しました。
問7	答え 4 福沢諭吉	明治新政府が「学制」を公布した1872年は、日本の近代教育の出発点となった年です。福沢諭吉はこの年に『学問のすゝめ』を刊行し、門閥制度などの古い価値観を否定しました。人間が平等であることや、実生活に役立つ学問（実学）を学ぶことで個人の独立を図り、それが国家の独立につながると説いて、当時の人々に大きな影響を与えました。
問8	答え 2 日比谷焼打ち事件	ポーツマス条約の内容が国民に伝わると、戦争による重税や生活苦に耐えてきた人々は、賠償金が取れなかった政府に対して激しい怒りを向けました。条約調印当日に東京の日比谷公園で開かれた反対集会は暴動へと発展し、警察署や新聞社などが襲撃される日比谷焼打ち事件となりました。これにより、政府は戒厳令を敷いて鎮圧にあたることになりました。
問9	答え 4 三国協商	19世紀末からドイツが皇帝ヴィルヘルム2世のもとで海軍の増強や植民地獲得を進める「世界政策」を展開したため、それまで植民地争いなどで対立していたイギリス、フランス、ロシアの3カ国が共通の敵を意識して歩み寄りました。この3カ国による対ドイツの協力体制が、第一次世界大戦における陣営の基礎となりました。
問10	答え 4 自らの苦しい生活体験を背景に、女性の立場から鋭い感性で小説を執筆した。	樋口一葉は家計を支えるために針仕事や商売を行いながら執筆活動をし、その厳しい生活の中から名作を生み出しました。選択肢の「君死にたまふことなかれ」は与謝野晶子、青鞞社の結成は平塚らいてう、女子英学塾の創立は津田梅子の実績です。このように、明治から大正にかけては多くの女性が文化や社会運動の分野で活躍しました。
問11	答え 4 自由民権運動が高まるなかで立憲改進黨などの政党が結成され、その後に近代国家の枠組みとなる大日本帝国憲法が発布された。	1880年代の日本では、自由民権運動の盛り上がりを受けて国会開設の機運が高まり、板垣退助の自由党や大隈重信の立憲改進黨が結成されました。政府はこの動きに対し、1889年に大日本帝国憲法を発布して立憲制を確立しました。日清戦争の講和条約は下関条約（1895年）、日露戦争の講和条約はポーツマス条約（1905年）であり、これらはいずれも憲法発布より後の出来事です。
問12	答え 4 ロシアは韓国（大韓帝国）に対する日本の指導権を認めたが、日本は賠償金を得られなかったため、国内で不満を抱いた民衆による暴動が起きた。	ポーツマス条約では、日本の韓国に対する優越権の承認、遼東半島南部の租借権や鉄道利権の譲渡、樺太の南半分の割譲などが合意されました。しかし、賠償金が含まれていなかったため、重税を耐え抜き勝利の対価を期待していた日本の国民は激しく反発し、日比谷焼打ち事件などの暴動へと発展しました。